

文化庁シンポジウム

国際発信力 強化と インバウンド 拡大に向けた我が国の文化芸術 フェスティバルの 展望

登壇者 ※敬称略

パネリスト

逢坂恵理子

国立新美術館 / 横浜美術館 館長

北川フラム

(株)アートフロントギャラリー 代表取締役会長
大地の芸術祭 総合ディレクター
瀬戸内国際芸術祭 総合ディレクター

宮城聡

演出家
SPAC 静岡県舞台芸術センター 芸術総監督
東京芸術祭 総合ディレクター

伏谷博之

ORIGINAL Inc. 代表取締役
タイムアウト東京 代表

モデレーター

綿江彰禅

一般社団法人芸術と創造 代表理事

主催 文化庁

問い合わせ先

一般社団法人芸術と創造
info@pac.asia

Painting: Raku Tomioka

2020年 2月25日(火)

13:30-16:00 (開場 13:00)

※その後 17:00まで名刺交換会を行います。是非ご参加ください。

ワテラスコモン 3階ホール

東京都千代田区神田淡路町2丁目101

プログラム

文化庁挨拶

パネルディスカッション

テーマ1

文化芸術フェスティバルの
国際発信力強化に向けた分析と展望

テーマ2

文化芸術フェスティバルの
インバウンド拡大に向けた分析と展望



文化庁

Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

文化芸術フェスティバルそのものの国際発信力の強化とインバウンド拡大への貢献についてより効果的・効率的に実現するためのフェスティバルの形態及び運営のあり方を議論し、全国で同じような目的を持ちながら文化芸術フェスティバルを実施されている方々にそのノウハウを共有することを目的として開催致します。



パネリスト

逢坂恵理子

国立新美術館長 / 横浜美術館 館長

国際交流基金事業部で文化交流事業に関わったのち、ICA名古屋の学芸員を経て、1994年より水戸芸術館現代美術センター主任学芸員を務める。その後、同センター芸術監督に着任。2007年より森美術館アーティスティック・ディレクター。2009年より横浜美術館館長に就任。2019年10月より国立新美術館館長に就任。また、1999年第3回アジア・パンフィック・トリエンナーレで日本部門コ・キュレーター、2001年第49回ヴェニス・ビエンナーレで日本館コミッションナー、2011年第4回横浜トリエンナーレ以降、総合ディレクター、横浜トリエンナーレ組織委員会委員長、コ・ディレクターを務める。



パネリスト

北川フラム

(株)アートフロントギャラリー 代表取締役会長
大地の芸術祭 総合ディレクター
瀬戸内国際芸術祭 総合ディレクター

1946年新潟県高田市(現上越市)生まれ。東京芸術大学美術学部卒業。アートフロントギャラリー代表。主なプロデュースとして、「アントニオ・ガウディ展」(1978-79)、アパルトヘイトに反対する動きを草の根的に展開した「アパルトヘイト否!国際美術展」(1988-90)、米軍基地跡地を文化の街に変えた「ファーレ立川アートプロジェクト」(1994)等。地域づくりの実践として、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」(2000-)、「瀬戸内国際芸術祭」(2010-)等で総合ディレクターをつとめる。2003年フランス芸術文化勲章シュヴァリエ。2006年度芸術選奨文部科学大臣賞。2016年紫綬褒章受章。2017年度朝日賞受賞。2018年度文化功労者受章。



パネリスト

宮城聡

演出家
SPAC 静岡県舞台芸術センター
芸術総監督
東京芸術祭 総合ディレクター

1959年東京生まれ。演出家、SPAC・静岡県舞台芸術センター芸術総監督。東京大学で演劇論を学び、1990年ク・ナウカ旗揚げ。国際的な公演活動を展開し、同時代的テキスト解釈とアジア演劇の身体技法や様式性を融合させた演出で国内外から高い評価を得る。2007年4月SPAC芸術総監督に就任。自作の上演、世界各地からの作品招聘、アウトリーチと人材育成を並行させ、「世界を見る窓」としての劇場運営を行っている。2017年のアヴィニョン演劇祭ではアジアの演出家として初めて同演劇祭のオープニングに選ばれ、法王庁中庭で『アンティゴネ』を上演した。



パネリスト

伏谷博之

ORIGINAL Inc. 代表取締役
タイムアウト東京 代表

島根県生まれ。関西外国語大学卒。大学在学中にタワーレコード株式会社に入社し、2005年代表取締役社長に就任。同年ナップスター・ジャパン株式会社を設立し、代表取締役を兼務。タワーレコード最高顧問を経て、2007年ORIGINAL Inc.を設立し、代表取締役に就任。2009年にタイムアウト東京を開設し、代表に就任。観光庁、農水省、東京都などの専門委員を務める。

モデレーター

綿江彰禪

一般社団法人芸術と創造 代表理事

1981年生まれ。2006年名古屋大学大学院経済学研究科修了。2006年(株)野村総合研究所入社、コンサルティング事業本部に所属。2014年慶應義塾大学大学院文学研究科修了、2016年(株)野村総合研究所退職・独立。現在、一般社団法人芸術と創造代表理事。政府や地方自治体を対象とした文化政策・産業政策および文化団体の運営に関するコンサルティングを行う。これまでの担当事業は50を超える。

詳細は<http://www.pac.asia/watae.html>参照。

会場へのアクセス



- ・東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅徒歩約2分
- ・JR「御茶ノ水」駅徒歩約3分
- ・東京メトロ丸ノ内線「淡路町」駅徒歩約2分

